

令和5年度 横浜市公園愛護会表彰

おめでとうございます！

愛護会活動に永年尽力され、その功績が顕著である個人及び愛護会と、愛護会活動の支援や活性化に貢献した団体の皆様を表彰する表彰式が、11月15日、神奈川県民ホールにおいて行われました。表彰された皆様おめでとうございます。＊受賞者・団体の情報はホームページに掲載しています。

●「個人表彰」受賞者 62名 敬称略 ●

【鶴見区】井田 精一、金子 由美子、菊池 武徳【神奈川区】園部 弘明【中区】山口 信正【南区】秋葉 映雄、小石原 強、後藤 明史、高見 淳子、山田 肇【港南区】井坂 芳男、大洞 正光、土田 良夫、森 知義【保土ヶ谷区】塩田 清、土肥 忠重、吉澤 進
【旭区】内田 恒夫、栗原 郁夫、田代 恵子、藤村 和彦、本田 洋一【磯子区】小島 治夫、出口 政雄、林 弥寿雄、宮澤 章【金沢区】青木 喜久男、伊藤 達雄、大谷 勝榮、斉藤 洋子【港北区】河田 祐蔵、斉藤 紀代子、高橋 安見、三嶋 賢一【緑区】池上 政幸、井上 正和、大野 晴男、小坂橋 省三、下山 美葉、高橋 清一郎、椿 久義、土志田 喜三郎、福田 実、本田 富男【青葉区】青井 孝之、下山 和正、杉山 則昭、鈴木 勲、増田 健一、渡辺 健一、渡辺 春平【都筑区】長部 照義、唐戸 正治、高田 敏明【戸塚区】岡田 徳彦、浜田 光久、藤井 雅喜、宮川 哲【栄区】三島 昇【泉区】嶋貫 勝美、佐野 瞳【瀬谷区】國島 弘

●「団体表彰」受賞団体 29団体 ●

【鶴見区】荒立公園愛護会、小野公園愛護会・小野第三公園愛護会・小野第四公園愛護会【神奈川区】神奈川通東公園愛護会、幸ヶ谷チェリー公園愛護会【西区】宮崎町公園愛護会【中区】大通り公園水の広場愛護会、元町百段公園愛護会【南区】平楽公園愛護会、六ツ川四丁目公園愛護会【港南区】日野宮ノ脇公園愛護会【保土ヶ谷区】峰岡公園愛護会【旭区】今宿西町公園愛護会【磯子区】水取沢公園愛護会、根岸坂下公園愛護会【金沢区】夏山第一公園愛護会・夏山第二公園愛護会・関ヶ谷公園愛護会・関ヶ谷第二公園愛護会、寺前町公園愛護会【港北区】太尾堤緑道(1)公園愛護会、新田緑道四季の道公園愛護会・新田緑道健康の道公園愛護会、師岡沼上耕地公園愛護会【緑区】十日市場象ヶ谷公園愛護会【青葉区】青葉台第三公園愛護会、大場かやのき公園愛護会・大場富士塚公園愛護会【都筑区】東山田公園愛護会【戸塚区】弘法池公園愛護会、舞岡熊之堂公園愛護会【栄区】いの山南公園愛護会、花籠公園愛護会、【泉区】西が岡二丁目公園愛護会・西が岡二丁目第二公園愛護会【瀬谷区】阿久和雨池公園愛護会

●「支援・活性化貢献団体」受賞団体 2団体 ●

【港南区】港南区公園愛護会連絡協議会【金沢区】金沢区公園ボランティアの会



「球根ミックス花壇写真展2023」開催

～2023年の春に募集した球根ミックス花壇の写真を展示します。ぜひお越しください～

- ①1月6日(土)～1月11日(木) イオン本牧店 3階エレベーター降りて左(横浜市営バス 和田山口 降りてすぐ)
②1月13日(土)～1月21日(日) イオンスタイル天王町 1階スターバックスコーヒー前(相鉄線星川駅徒歩6分、天王町駅徒歩8分)

ホームページでは、「球根ミックス花壇2023」の写真を公開しています。(右のQRから閲覧できます)
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/aigokai/kadan.html#kyukon2023>

また、2024年の球根ミックス花壇の写真を募集します。奮ってご応募ください。
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/aigokai/koenaigokaitop.html> (右のQRから閲覧できます)



折り鶴が横浜からドーハに渡り、博覧会会場を美しく彩ります！
～「GREEN×EXPO 2027」(2027年国際園芸博覧会)に向けて～

2023年10月から2024年3月まで、中東カタールのドーハで国際園芸博覧会が開催されます。2027年に横浜で開催される「GREEN×EXPO 2027」(2027年国際園芸博覧会)の直前に開催される最後の最上位クラスの博覧会です。

今回、里山ガーデンで折った「折り鶴」が、ドーハ国際園芸博覧会と横浜をつなげる象徴として、ドーハに届けられます。両国の交流をPRすることで、日本・横浜で開催される「GREEN×EXPO 2027」への機運醸成につなげていきます。

◇ドーハ国際園芸博覧会概要

名称：2023年ドーハ国際園芸博覧会
テーマ：Green Desert, Better Environment
(緑の砂漠、よりよい環境)
開催地：カタール国ドーハ アルビッダパーク
期間：2023年10月2日～2024年3月28日



里山ガーデンフェスタ2023
で開催したワークショップ

公園の維持管理・公園愛護会通信の配布部数に関するお問合せは、各土木事務所・公園緑地事務所をお願いします。

※バックナンバーは横浜市公園愛護会のホームページから閲覧できます。

発行/横浜市環境創造局公園緑地維持課 〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10(27F)

電話:045-671-2650 FAX:045-664-2588 Eメールアドレス:ks-aigokai@city.yokohama.jp 発行月:令和5(2023)年12月

アジサイの剪定講習支援を始めます！！

昨年度から試行をしていました、アジサイの剪定講習を開始します。アジサイの花付きを良くする方法や、低く仕立てる方法などが学べます。

公園にアジサイがあるけど、剪定の方法がわからない場合や、大きくなりすぎていてもう少し低くしたい場合などは、是非一度講習を受けてみませんか(講習適期は6～7月です)。



2023年7月13日 講習前
(都筑区 平台くりのみ公園)

講習後



2023年7月13日 講習後
風通し良くさっぱりしました。来年の報告をお楽しみに。



2022年7月14日
(鶴見区 諏訪坂公園)

1年後



2023年7月10日
花付きが良くなりました！



とても勉強になりました。自宅のアジサイでも試してみたいです

挿し木の方法も勉強になり、育ててみたいと思います

講習を受けた愛護会の方の声

私達が支援します！

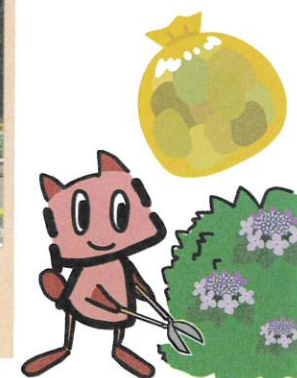


公園緑地維持課 維持管理支援班
(左から、井上、江部、小泉、布野)

公園へGO!! ボランティア活動中
公園愛護会
通信82号

2023.12月発行

公園愛護会通信は、公園愛護会活動がより活発に行われるように、活動に関する情報提供や、活動の事例紹介等を行うための情報誌です。



ぞうさんジョウロを使って、公園利用者に、自由に花壇に水やりをやってもらう取組をご紹介します！

【泉区 和泉町小谷山公園愛護会】



公園に来ていた男の子
楽しそうに水をあげている



嬉しそうに咲いている花達

子ども用のぞうさんジョウロを公園に置いておき、誰でも使えるようにしたらどうか。

夏場の水やりに悩んでいた愛護会のメンバーが提案し、土木事務所に了解を得て設置してみたところ、子どもに大人気となりました。

花ボランティアは6人。毎週火曜の午前中に活動しています。他の曜日には、ごみ拾いの団体や愛犬家グループの団体がごみ拾いや水やりをやってっていますが、夏場に毎日花壇に水をやりに来れない時もあり花を枯らしてしまうこともあったといいます。

みすぼらしい花壇にはしたくない

中さん（当公園で花壇を始めた1人）
「前職の時に、区の花壇ボランティアの講習を受けたのをきっかけに、花壇づくりを始めました。せっかく花を植えても、枯らしてしまう、何とかできないかと考え、せっかくやるのであれば四季折々の花をきれいに見せたい、みすぼらしい花壇にはしたくないです」

小川さん（ジョウロを掛ける看板の作成者）
「子どもたちにも使いやすい高さにして平面より立体的に、ものに掛けるようにした方が使いやすく管理もしやすいのではないかと。また、子どもたちが花を大切に作る気持ちをもってくれたらいいなと考えて作りました。水やりの時間もわかるよう「夏は10時までに、夕方は16時からあげてください」と書き加えて、ジョウロを愛護会で購入し、取り付けました」

平川さん
「皆さん時間もちゃんと守ってくれて、最初のうちはいたずらされるのではないかと心配していたずらも今のところないです」

公園利用者の声
「子どもが花を大好きになり、幼稚園に入るまで、毎日のように水やりに来ていました。花に名前もつけていただいているので、花の名前を覚えて帰って子どもと調べてみたりしています」
「子どもが花に興味を持つようになりました」

近隣の皆様に感謝

平川さん

「公園の近くに小学校もあり、放課後に子どもが多く遊びに来ますが、子どもの遊んだボールで近所のご迷惑となることもあります。また、雨で公園から砂が近隣のお宅の敷地に流れた時も、掃除してくださるなど、近隣の皆様が本当にいつも理解してくださりご協力いただいているおかげで大きな問題もなく公園が保たれています」

黒川会長

「町会ごとに、年に7回の掃除を順番で回しています。ブロックに関わらず有志の方が多く参加してくれて非常にありがたいです。これからも皆で関心持って取り組んでいけたらいいと思います」

泉区の公園愛護会コーディネーター

「ここの花壇の花はいつ来ても嬉しそうに咲いています」

公園に来る人たちに水を楽しくあげてもらって、愛護会の手間も少なくなるなんてすごいアイデアですね。（※作る時は所管の土木事務所・公園緑地事務所にご相談ください。）



【花ボランティア メンバー紹介】

左から

黒川さん（公園愛護会 会長）、
横山さん、小川さん、山村さん、中さん、
平川さん（町内会長）



ぞうさんジョウロの取組の広がり 【泉区 西が岡公園愛護会 高橋さんの話】



改良工事で、植栽ますが造られたのをきっかけに、花壇づくりを始めましたが、水道と花壇の距離が遠く、水やりにとっても苦労していました。

ジョウロを置いて、公園の利用者が花壇に自由に水をあげてもらい、取り組みを別の公園でやっているという話を、土木事務所の職員から聞き、とてもよい案だと思いました。

普通の看板だと、無機質でなじまないし、子どもが寄り付かないのではないかと考え、昨年区の視察会でいった花菜ガーデンの案内表示を参考に作りました。材料は、公園に落ちている桜の枝を拾い支柱にしそれに板をつけてスプレーで色付けし、文字は元幼稚園の先生をやっていた奥さんに書いてもらいました。

設置したジョウロはとても人気があり、毎日水やりを日課にしている人もいます。

愛護会の人数も、当初2～3人で活動していましたが、募集などのPRをしていないにもかかわらず自然と声をかけられ徐々に増え、現在10人ほどになりました。